

第8回 横浜市訪問介護連絡協議会総会 議案

決議日時 : 令和2年 5月29日 (金)

議決権行使書提出期限 : 令和2年 5月25日 (月)

開催方法 : 書面決議

書面決議の理由 : 新型コロナウイルスの感染拡大により、4月7日付けで「新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成24年法律第31号）」第32条に基づく緊急事態宣言が発令され、緊急事態措置を実施すべき区域の1つに神奈川県全域を指定されました。
緊急事態宣言には、不要不急の外出を控える事や「三密」（密集、密閉、密接）を避けるよう呼びかけられております。
この緊急事態宣言に基づき、高齢者の生活を支える訪問介護事業所の管理者、サービス提供責任者が集団感染を起こす事がないよう会議体としての総会を中止し、書面決議を実施することとしました。

1. 審議事項

第1号議案 : 令和元年度事業報告

第2号議案 : 令和元年度決算

第3号議案 : 令和2年度事業計画（案）

第4号議案 : 令和2年度予算（案）

第5号議案 : 役員選出（案）

第1号議案

横浜市訪問介護連絡協議会 令和元年度活動報告書

横浜市訪問介護連絡協議会（以下「会」）の令和元年度活動報告をします。

1. 区連絡会の支援

幹事会において、区連絡会の活動の進捗状況を共有するとともに、区連絡会が主催する研修会の講師及び講師の紹介をするなど、区連絡会の活動を支援しました。

2. 行政、地域包括支援センター、各連絡会等との連携

横浜市をはじめとして、区役所、地域包括支援センター、横浜市介護支援専門員連絡協議会、一般社団法人横浜在宅看護協議会との連携をとりました。

3. 意見交換、提言

(1) 横浜市と介護人材の確保、育成などについて意見交換を複数回実施しました。

さらに横浜市と協議を進め、令和元年度より「2019年度横浜市訪問介護資格取得支援事業」として、600名分（介護職員初任者研修受講者500名、生活援助従事者研修100名）の訪問介護員の増加を図る施策を取っていただきました。

この事業は、訪問介護に必要な資格取得の費用を横浜市が助成するというもので、介護職員初任者研修等の受講者が、訪問介護事業所等で一定期間就労して初めて受講費用の助成を受けられるもので、在宅に関する介護職員を増加させることに特化した事業となっています。

令和2年度も引き続き、この事業を継続していただく事となっています。

(2) 令和元年10月15日開催の第4回幹事会にて、10月12日に上陸した台風に関連し災害時のサービス提供について、横浜市健康福祉局高齢在宅支援課と意見交換を行いました。

4. 会議

(1) 総会：令和元年5月16日（木）第7回総会を開催しました。

総会にあたり、ジャズシンガー 綾戸智恵氏を招聘し「ジャズシンガー 綾戸智恵さんが、愛する家族と介護の実体験を語る」と題して基調講演を行いました。149名の参加がありました。

(2) 幹事会：定例で毎月（全10回）各区代表による幹事会を開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2月以降の幹事会は中止とし、今季の開催は6回となりました。

(3) 役員会：定例で毎月（全12回）幹事会に先立ち、議案を話し合う予定でしたが新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2月12日の役員会を最後に

開催できない状況となりました。以降、3月と4月の役員会は中止としましたが、5月5日には、インターネット環境を利用したweb会議を実施し開催は全9回となりました。

(4) 委員会：適宜以下の委員会を開催しました。

①多職種連携委員会

- ・令和元年9月11日(水) 神奈川公会堂ホールにて横浜市介護支援専門員連絡協議会との合同研修会を実施しました。
- ・横浜市介護支援専門員連絡協議会とは継続してお互いに連携を深めていくことを確認しました。

②研修委員会

- ・令和元年9月11日(水) 多職種連携委員会主催の研修の支援を行いました。
- ・令和2年1月23日(木) サービス提供責任者向け座学研修「伸びるサ責になるための5つのカギと15の視点」を行いました。

(5) 専門部会：6月19日(水)に当会代表の招集により令和元年度第1回目の専門部会を行い、その後9月18日(水)、1月29日(水)の合計3回開催され、出席者から貴重なご意見をいただきました。

5. 研修会

(1) 多職種合同研修

日 時：令和元年9月11日(水) 13:30~16:00

場 所：神奈川公会堂ホール

対 象：横浜市訪問介護連絡協議会会員・横浜市介護支援専門員連絡協議会会員

内 容：第1部 寸劇

「認知症・物盗られ妄想編」

第2部 座談会

「在宅看取りの課題について医師、ヘルパー、ケアマネジャーみんなで話してみませんか？」

ケアマネジャー×サービス提供責任者

参加者80名(居宅介護支援事業所を合わせると140名程度)

(2) サービス提供責任者向け座学研修

日 時：令和2年1月23日(木) 13:30~16:30

場 所：フォーラム南太田(男女協同参画センター横浜南) 3階 大研修室

対 象：横浜市内訪問介護事業所のサービス提供責任者

内 容：「伸びるサ責になるための5つのカギと15の視点」グループワーク研修

参加者：75名(講師他合計99名)

6. その他

- ・ 第1回～第7回までの全ての幹事会に、横浜市健康福祉局高齢在宅支援課よりご出席をいただき、横浜市からの情報提供、意見交換などを行いました。
- ・ 令和元年12月10日に横浜市健康福祉局高齢在宅支援課と訪問介護事業所向け離職防止研修に関する意見交換を行いました（役員のみ出席）。

第2号議案

横浜市訪問介護連絡協議会 令和元年度 決算報告

会計担当 正木 光一

<収入>

(単位:円)

項目	金額	内訳
前期繰越金	843,507	
横浜市居宅介護支援専門員連絡協議会	20,000	
横浜市健康福祉局 補助金	640,000	
会費	180,000	10,000円×18区
9/11 合同研修分担金	40,937	
総会入場料	193,212	
利息	7	
収入合計	1,917,663	

<支出>

(単位:円)

項目	金額	内訳
第7回 総会関係費	900,344	講師料・会場費
研修費	134,090	講師料・会場費、研修資料作成費等
幹事会 運営費	8,200	会場費、講師料、資料作成費用、他
ホームページ運営手数料	94,800	
手数料	2,170	振込手数料等
役員・委員会委員交通費前年度未払い分	67,970	
事務局費未払い分	40,000	
諸会費	20,000	横浜市居宅介護支援専門員連絡協議会
雑費	2,080	コピー代、養生テープ他
第7回総会費用前払い分	5,200	会場費
支出合計	1,274,854	
次期繰越金	642,809	
収入支出合計	1,917,663	

令和元年度の会計について監査を執行し、収入、収支とも正確に記帳整理されており、帳簿・証拠書類等の保管は完全であることを認めます。

令和2年 4 年 30 日

監事 木下 浩美



第3号議案

横浜市訪問介護連絡協議会 令和2年度活動計画（案）

横浜市訪問介護連絡協議会（以下「会」）の令和2年度活動計画を策定します。

1. 区連絡会の支援

区連絡会の活動の進捗状況を共有するとともに、区連絡会の活動を支援します。

2. 行政、地域包括支援センター、各連絡会等との連携

横浜市をはじめとして、横浜市議会、区役所、地域包括支援センター、横浜市介護支援専門員連絡協議会、横浜在宅看護協議会などの各協議会との連絡を密にとり研修会の合同開催、連携を強化します。

3. 意見交換、提言等

介護保険制度・障害者総合支援法等の制度改正に向けた情報収集及び意見集約を行い関係省庁に対し提言をしていきます。

横浜市と8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定、及び資格取得支援事業等介護人材の確保、育成などについて意見交換を複数回予定しており、官・民の力を合わせて対応していくことにしています。

4. 研修会

各区連絡会の研修会のほか、年に1回以上、会として研修会を開催します。

区連絡会の研修会についても、講師派遣の相談等による支援をします。

5. 会議

(1) 総 会：予算・決算のほか、必要な事項について総会を開催します。

(2) 幹事会：毎月定例で、各区代表による幹事会を開催します。その他、必要に応じて随時開催します。

(3) 役員会：幹事会に先立ち、定例の役員会を開催し、事業計画・事業報告等を話し合います。その他、必要に応じて随時開催します。

(4) 委員会：以下の委員会を開催します。

- ① 研修委員会
- ② 多職種連携委員会
- ③ 広報委員会
- ④ その他、必要と認められた委員会

6. 委員会

(1) 研修委員会

- ・ 管理者、サービス提供責任者、訪問介護員向けの研修等を主催します。
- ・ 多職種連携委員会主催の合同研修の支援を行います。
- ・ 各区連絡会の研修企画及び講師派遣の助言をします。

(2) 多職種連携委員会

- ・ 横浜市介護支援専門員連絡協議会・横浜在宅看護協議会、横浜市役所などの関係機関と連絡を取り合い、連携・交流を深めます。
- ・ 引き続き、横浜市介護支援専門員連絡協議会と共催し合同研修会を行います。

(3) 広報委員会

- ・ ホームページの運営、管理を行います。
- ・ 総会及びイベント等に関する広報活動を行います。
- ・ 当会の広報活動を行います。

7. 専門部会

制度改正や報酬改定、介護人材の確保、人材育成など、訪問介護を取り巻く諸問題に対処するため、協議会として取り組む上で必要な情報収集、意見交換の場として専門部会を設置します。専門部会で論議された内容は役員会に報告され、関連省庁への提言などの参考とします。

第4号議案

横浜市訪問介護連絡協議会 令和2年度 予算案（案）

会計担当 正木 光一

<収入>

(単位：円)

項目	金額	内訳
令和元年度繰越金	642,809	
横浜市健康福祉局より(分担金)	640,000	
会費	0	※理由は下記
収入合計	1,282,809	

<支出>

(単位：円)

項目	金額	内訳
総会関係費	20,000	総会資料印刷費、郵送料
幹事会等会議費	200,000	交通費、会場費、資料代
研修費	150,000	会場費、講師料、資料作成費用、他
広報関係費	100,000	ホームページ管理費、他
委員会・専門部会運営費	100,000	会場費、委員会、専門部会運営費
アンケート集計費用	500,000	会員からの意見集約等
事務局費用	40,000	
通信費	50,000	電話、郵送代
予備費	122,809	
支出合計	1,282,809	

※新型コロナウイルスの関係で、研修等の開催目処が立たないため、年会費の徴収は行わない。

第5号議案

令和2年度 横浜市訪問介護連絡協議会役員候補者（案）

役職	氏名	区	所属事業所等
代表	佐藤 永弘	鶴見区	ひかりケアサービス
副代表	細川 佳宏 澤田 千絵	旭区 磯子区	しあわせ介護 フルライフ磯子
研修委員長	芳原 悦子	磯子区	みのりサポート
研修副委員長	真壁 恵	金沢区	ヘルパーステーションほほえみ
多職種連携委員長	奥村 祐二	戸塚区	ケアサービス春
多職種連携副委員長	齊藤 博美	緑区	みずたま介護ステーション十日市場
広報委員長	笠原 英代	南区	訪問介護ステーションしあわせの花束
委員	新井 仁子	南区	横浜市福祉サービス協会南介護事務所
会計	正木 光一	中区	ふじケア ヘルパーステーション横浜
会計監査	石山 京美	旭区	たすけあいあさひ
事務局	水梨 稔之 浅田 麻由美 北村 仁	中区 港南区 港南区	ふじケア ヘルパーステーション横浜 ヘルパーステーション プラチナ倶楽部 居宅サービス事業所 花舞・さかえ